

公表

事業所における自己評価結果（2024年度）

事業所名		児童発達支援つみきえーる			公表日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	100.0%	0.0%	・その日の利用児の状態によりパーティションで仕切るなど活動スペースを分けるなど柔軟にスペースを使用している。 ・活動によってはグループ分けを行うなどの工夫、限られたスペースの中での場所の使い方の工夫。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	100.0%	0.0%		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	100.0%	0.0%	・物の片付け場所が分かりやすくように写真で提示 ・主な活動スペースは1部屋で活動し、見やすく分かりやすくしている。 ・写真、絵を取り入れ誰にでも分かりやすくしている。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	100.0%	0.0%	・幼稚園や保育所などの子ども達が主に集団生活を行っている生活空間に似た環境づくりを行い、社会性や集団生活の練習をしている。 ・活動内容の組み合わせ、その都度子どもたちの状態に合ったスペース、環境づくりにおいて直ぐに反省点などあれば話し合い、次の活動に活かす工夫。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	100.0%	0.0%	クールダウンや清拭の際は個別の部屋を使用している。	
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	100.0%	0.0%	・週1回のミーティングで現場の振り返りやケースについての相談を行い、欠席の職員には議事録などで共有している。 ・ホワイトボードを活用し、その日の子どもの様子や活動予定など誰が見てもわかりやすくしている。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100.0%	0.0%	定例ミーティングで定期的に共有している	定例ミーティングで改善方法を話し合っている
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100.0%	0.0%	同上	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	75.0%	25.0%		第三者による外部評価を策定していきます
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	100.0%	0.0%	毎年、全ての職員に受講の機会を設けています	
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	100.0%	0.0%	ホームページに最新結果を掲載しています	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	100.0%	0.0%		
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100.0%	0.0%	担当スタッフを中心に個別支援計画について協議している。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100.0%	0.0%		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	100.0%	0.0%		
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	100.0%	0.0%		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	100.0%	0.0%		

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
適切な支援の提供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100.0%	0.0%	・運動、感覚、製作、ゲーム、音楽の5つの分野に分け、季節の要素を取り入れている。参加児童の発達段階に応じ、どの子どもも楽しめる工夫を考えている。 ・グループ活動に関しては週替わりで遊びを検討し、子ども達が楽しめる内容や発達を促す内容にしている。 ・季節や子ども達に合わせた活動になるよう工夫。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	100.0%	0.0%	支援を行う際、一人ひとりのその日その時の様子をしっかりと把握し場に合った対応。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	100.0%	0.0%	・週1回のミーティングで全体周知を行い支援内容の確認や協議等を行っている。 ・当日朝に細かな動きや相談事は解決できるよう時間作りを行うとより良い。 ・分かりやすく申し送りしてくれている。勤務時間の違いがあるのでタイミングによっては難しい場面もあるため記録などしっかり見るなど自身の改善や反省も必要。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	100.0%	0.0%	・その日のケースの困り事は、その日のうちに上司に報告相談し、解決策を検討し次回の支援に役立てている。 ・個人ケースについては連絡帳の写しに気付いたことなどを書き加えて記録を残している。 ・分かりやすく申し送りしてくれている。勤務時間の違いがあるのでタイミングによっては難しい場面もあるため記録などしっかり見るなど自身の改善や反省も必要。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100.0%	0.0%	・個人ケースについては連絡帳にて記録を残している。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100.0%	0.0%		
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100.0%	0.0%		
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	75.0%	25.0%	・保護者からの要望があれば、幼稚園や保育所へ訪問して先生方とも連携している。 ・送迎時に先生方と状態を共有し合う。	当事業所では、保護者を通じた情報共有を基本としながら、必要に応じて関係機関と連携を図っています。今後は、より円滑な支援体制を整えるため、地域の保健・医療・福祉・保育・教育機関との情報共有の機会を増やし、相互理解を深める取り組みを強化してまいります。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	75.0%	25.0%	・保護者からの事業所移行や就園・就学に関する相談には応じている。 ・話し合いの場は設けていないが、書類で本人の成長状況を情報共有している。	当事業所では、併行利用や移行に向けた支援を行う際、保護者を通じた情報共有を中心に進めていますが、今後は関係機関との連携を強化し、支援内容の共有がより円滑に行われるよう努めます。また、インクルージョン推進の観点から、子ども一人ひとりに合った移行支援の充実を図り、保護者が安心して選択できる環境づくりを進めてまいります。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	25.0%	75.0%	保護者、相談支援事業所、保育所、幼稚園のみ。	当事業所では、学校と直接やりとりする機会は設けていませんが、今後は保護者を通じた情報共有の充実を図るとともに、必要に応じて関係機関と連携し、支援内容の引き継ぎが円滑に行われるよう努めます。また、就学に向けた個別相談や情報提供の機会を増やし、保護者が安心して移行を進められるよう支援を強化してまいります。
	28	(28～30は、センターのみ回答)				
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
	31	(31は、事業所のみ回答)	50.0%	50.0%	より良い支援の向上につながる様々な見解や助言を受ける機会があれば良いと感じている。	当事業所では、現時点で児童発達支援センターとの定期的な連携は行っていますが、今後は必要に応じて助言やスーパーバイズを受ける機会を増やし、支援の質の向上を図ってまいります。また、情報共有を促進し、より専門的な視点を取り入れた支援が提供できるよう努めてまいります。
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	50.0%	50.0%	・ボランティアの方のお子様と一緒に絵本の読み聞かせや音楽あそびに参加したり、おやつを食べたりする交流の場があった。 ・長期休暇中のイベント ・公園で一緒にあそぶ	現在、保育所や認定こども園、幼稚園等との定期的な交流の機会は設けていませんが、今後は地域の子どもたちと関わる機会を増やし、集団活動を通じた社会性の向上を支援できるよう取り組んでまいります。また、関係機関との連携を強化し、交流の場を広げる工夫を検討していきます。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100.0%	0.0%		
保 護 者 へ の 説 明 等	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	50.0%	50.0%		現在、家族支援プログラムや研修の機会は定期的には設けていませんが、今後はペアレント・トレーニング等の学びの機会を増やし、保護者の対応力向上を支援できるよう努めます。また、家族が参加しやすい情報提供の方法を工夫し、日常の育児や支援に役立つサポートを強化してまいります。
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	100.0%	0.0%		
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100.0%	0.0%		
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	100.0%	0.0%		
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100.0%	0.0%	・希望者には月1回30分から60分程度のヒアリング会を実施し相談に応じている。その他にも送迎時やLINE、電話等でもその都度対応している。 ・送迎時、連絡帳も活用。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	25.0%	75.0%		当事業所では、保護者同士やきょうだい同士の交流の機会を設けることの重要性を認識しつつも、すべての方が望まれるわけではないことを考慮し、参加を強制せず、希望者が安心して交流できる場を提供できるよう工夫してまいります。今後は、保護者会の開催や情報交換の場の提供について、個々の希望を尊重しながら、必要に応じて支援を検討していきます。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100.0%	0.0%		
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	100.0%	0.0%	つききつずだより（月1回発行）を配布。 定期的にSNS発信。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100.0%	0.0%	令和7年度からシステム変更するため、ヒューマンエラーが減りセキュリティも強化される。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100.0%	0.0%		
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	50.0%	50.0%		今後は地域とのつながりを深めるため、参加しやすい形での交流の機会を検討してまいります。地域の理解を促進し、子どもたちがより自然な環境で成長できるよう、開かれた事業運営に努めていきます。
	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	100.0%	0.0%		今後、保護者へ周知する際の確認方法の工夫や定期的な再周知、保護者がアクセスしやすい形での情報提供を強化し、より確実な周知に努めてまいります。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	100.0%	0.0%	職員の役割分担、シミュレーション、実際の避難訓練の他に子どもの年齢や発達段階に合わせた防災学習を行っている。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	100.0%	0.0%	利用開始時の聞き取り、それ以降についても服薬内容の変更等があった際には情報提供の協力をお願いしている。	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
非常時等の対応	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	100.0%	0.0%	医師からの指示を保護者から共有していただき、配慮している。症状によってはお預かりしている塗り薬の塗布や様子観察、食事を摂る場所、席の配置を工夫している。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100.0%	0.0%		
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	100.0%	0.0%		
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	100.0%	0.0%	ヒヤリハット・事故報告書の作成し、当日中に話し合い周知している。 安全委員会を設置している。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100.0%	0.0%	毎年、研修参加している。 産業カウンセラーによる職員の心のケアを定期的に実施している。	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	100.0%	0.0%	車椅子使用時や痙攣、パニック発生時の個別対応について、保護者に十分に説明し同意を得ている。	